

第73回 名市大システム自然科学研究科セミナー

- 日時：6月24日(金) 午前10時～10時45分
- 場所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス
4号館(南棟)3階大講義室
- 講師：本村浩之 教授(鹿児島大学総合研究博物館)
- 題目：『動物分類学の基礎と新種記載の実践』

生物の新種は、熱帯のジャングルや深海などの未開の地を調査することによってようやく発見されるものと思っている方が多いかもしれません。しかし、実際は私たちの身の回りに多くの新種が生息しています。また、図鑑や文献に載っていない生物であればそれが新種であると思っている方も多いようです。これも大きな間違いです。さらに、テレビや新聞などのメディアで「新種発見」と報道されますが、その生物はごく最近発見されたわけではなく、「発見」自体は実は報道の数十年前から数年前にされています。

本セミナーでは国際動物命名規約で定められている学名の基本的なルールを概説し、それを理解したうえで、ツバメコノシロ科魚類の *Polydactylus siamensis* Motomura et al., 2001 が新種として記載(発表)されるまでの実際のプロセスを分かりやすく紹介します。本セミナーによって上記の“常識”が誤りであることに気付き、「新種」というものについてより深く理解できるよう話を進めていきます。

問合せ先：熊澤 慶伯 (名市大システム自然科学研究科、電話：(052)872-5844)